

格助詞“に”の使い方と その類似格助詞“で、へ、まで”の簡単な区別。

私たち中国人が日本語を学習する時、いちばん間違いやすく、そして頭を悩ますのは格助詞の使い方、とくに類似的な格助詞“に、で、へ、まで”の場所、時間そして方向などのようです。本文は格助詞“に”を基礎にして“で、へ、まで”と“に”の区別を簡単に述べて見たいと思います。

まず、格助詞“に”の使い方は学者によってその分類もそれぞれ違いますが、私は教学の必要から大体21種類に分けてみました。

1. 静止的な場所を表わす。

例：有名な富士山は日本にある。

（有名的富士山在日本）。

場所を表わす格助詞に“で”もありますが、“で”は一般に動作の行われる場所を指します。

例：毎日夜間大学でフランス語を習っている。

（每天在业余大学学习法语）。

労働者は工場で働いている。

（工人在工厂里干活）。

もし、これを

毎日夜間大学にフランス語を習っている。

といたら、おかしい日本語になってしまい間違いです。

2. 動作の具体的位置を表わす。

例：皆既食の時は太陽と月とは同じ赤径と赤緯にある。

（全食时太阳与月球在同一赤径和赤纬上）。

3. 動作の対象を表わす。

例：昨日友達に手紙を出した。

（昨天给朋友寄信了）。

この場合の“に”は格助詞“へ”と交替して使えます。

例：昨日友達へ手紙を出した。

しかし、ここでの“へ”は方向、目標を指しており、次の句は具体的な対象を指しているため、一般に“へ”は使いません。

例：そのことは邱さんにだけ話した。

(那一件事只对考邱讲了)。

4. 比較のもとになる物事を表わす。

例：AはBに等しい。

(A 等于 B)。

わたしの家は駅に近いです。

(我家离火车站近)。

5. 動作の方向、到着点を表わす。

例：洪さんは中国文化代表団の一員として来週日本に行く。

(老洪做为中国文化代表团的成员下星期要去日本)。

ここで注意すべきことは格助詞“に、へ、まで”もみな方向を表わします。しかし一定の区別があり、使用する場合特に気をつけなければなりません。その区別を述べてみますと、まず、一般に方向を表わす時“へ”と“に”は交換して使えます。

例：洪さんは中国文化代表団の一員として来週日本(に)へ行く。

(下星期洪先生作为中国文化代表团前往日本)。

トランジスタが使用されるにつれて次第に回路は小形化の方向に(へ)進むようになった。

(随着晶体管被利用，电路就是渐向小型化方向发展了)。

もし、これが具体的な到着の終点を表わす場合、一般に“へ”を使わず、“に”を使います。

例：アメリカの観光団は今朝上海に着いたばかりです。

(美国观光团今天早晨刚到这上海)。

菊池さんはイギリスに出かけて、もう五年になります。

(菊池先生到英国已有五年了)。

いすにかける。

(在椅子上坐)。

以上はみな到着の終点を表わし、“へ”は使えません。“へ”は一般に到着終点以前の状態を指します。

例：いすへかける。

(要坐椅子)。

椅子へおかけなさい。

(请在椅子上坐)。

となると、一般にまだ椅子にすわっていない状態を表わします。

“まで”も動作の方向を表わしますが、“に”よりもその到着点を強調します。

例：夏休みには京都まで行ってきました。

夏休みには京都に行ってきました。

この二句を比べてみますと前句の“まで”は京都まで行く途中どこかで下車し、遊びながら目的地まで行って帰ってきたというような感じを人にあたえ、最終到着点を強調しています。後句の“京都に行ってきましたは”途中どこにも降りず、直接京都に行って帰ってきたことを表わしています。

6. 具体的な時間を表わす。

例：大学の授業は午前七時半に始まり、午後五時に終わる。

(大学的上课时间是从上午七点半至下午五点)。

格助詞“で”も時間を表わしますが、一般に期限、限度、期間そして年令を指します。

例：吉田さんが福建に来てから、今年でちょうど十年になる。

(自从吉田先生来到福建到今年整整是十年)。

この仕事は五日間で仕上げる。

(这项工作五天能完成)。

私は今年で二十歳になった。

(今年我满二十岁)。

7. 事物が変化した結果を表わす。

例：太陽熱ゾーンに位置する砂漠の昼は気温摂氏50度にのぼることは珍しくない。

(处于太阳热地带的沙漠昼间气温达到摄氏50度是并不稀奇的)。

8. 具体的な状態を表わす。

例：きのうの地震は、始めは上下に、それから左右にゆれた。

（昨天地震一开始上下振动，然后左右振动）。

格助詞“で”も状態を表わしますが、これは一般に動作の状態を指し、“に”は使えません。

例：列車は一時間に200キロのスピードではしる。

（火车以每小时二百公里的速度行驶）。

9. 情況を表わす。

例：日本は美しい風景にめぐまれている。

（日本到处都有明媚的风光）。

10. 目標を表わす。

例：酒やタバコは体に悪いばかりでなく、精神にもよくない。

（烟酒不但对于身体有害，而且对于精神上也没有什么好处）。

現代化を実現することはわれわれ中国人にとって非常に重要な任務である。

（要实现现代化对于我们中国人是非常重要的任务）。

11. 分配と比例の關係を表わす。

例：この薬は一日に三回飲んでください。

（这种药请一天吃三次）。

この紙をひとりに五枚ずつくばる。

（把这纸每人分五张）。

12. 原因や理由を表わす。

例：そのありさまを見て、あまりのおかしさに思わず笑ってしまった。

（看了那个样子，因为太逗乐，就不觉笑出来了）。

格助詞“で”も原因や理由を表わします。しかし、“で”は一般に前句の原因や理由を強く強調し、“に”は後句の原因や理由を強調するようです。ですから、「……あまりのおかしさに、思わず笑ってしまった」は後句の「……思わず笑ってしまった」を強調しているため、この場合「……あまりのおかしさに……」には格助詞“で”は使えません。

また、今日は病気で学校を休んだ。

(因病今天没上学)。

この場合、前句の「今日は病気で……」の原因を強調しているため“に”は使えません。

もう一つ同じような例を挙げて見ますと、

例：先生の熱心な教えに心を打たれた。

(老师热心地教导，使我很受感动)。

先生の熱心な教えで私はよい成績をとった。

(因有老师的热心教导，我才取得好成绩)。

以上二つの例を比べてみますと、第一句の「心を打たれた」主な原因は、先生が熱心に教えたからであり、これは後句を強調し、第二句は先生が熱心に教えてくれたために私はよい成績を得たということを書いており、前句の先生の作用を強調しています。ですから、この二句は“に”と“で”は交替して使えません。

13. 目的を表わす。

一般に三種類に分けられます。

1) 動詞連用形(名詞法)の次に“行く、来る、帰る”などの移動的な動詞が続いて目的を表わします。

例：今日日本のお客さんが来るので、北京駅まで迎えに行った。

(今天日本客人要来，所以到北京火车站去接了)。

2) “名詞或いは動詞連体形+の”の形で目的を表わします。

例：林さんはイギリスへ国際法の勉強に来た。

(林先生来英国学习国际法)。

3) 語句の後に「には」或いは「ためには」をつけて目的を表わします。

例：三角形の面積を計算するには、底辺に高さを掛け2で割ればよい。

(要想计算三角形的面积，可以用底边乘高，然后用2除即得)。

正確な外国語を話すためには、まず外国語の基礎知識をしっかりと身につけなければならない。

(要想讲地道的外语，首先必须牢固地掌握外语的基本知识)。

14. “お＋動詞連用形＋になる”の形式で敬語を表わす。

例：校長先生がいま朝日新聞をお読みになるところです。

（校长正要读日文的朝日新闻）。

15. 受動態を表わす。

例：バスの中で、スリに財布をとられてしまった。

（在公共汽车上被小偷偷走了钱包）。

16. 使役態を表わす。

例：お母さんは赤ちゃんにミルクをのませた。

（母亲给婴儿喝牛奶）。

17. “動詞連用形（名詞法）＋に＋同一動詞”の形式で強調を表わす。

例：技術に対しては、彼は研究に研究を重ねた。

（他对技术精益求精）。

一日じゅう歩きに歩いたので、すっかり疲れてしまった。

（一整天走了又走，所以累极了）。

18. “動詞或いは形容詞連体形＋には＋同一動詞或いは形容詞＋が”の形で動作や状態を強調する。

例：行くには行くが、何時に行けるかちょっとわからない。

（去是准去，但几点钟能去得了，却有一点儿难说）。

カラーテレビがほしいにはほしいが、今金がないから買えない。

（彩色电视机我喜欢是很喜欢的，不过现在没有钱，所以买不了）。

19. “体言＋を＋体言＋に”の形式で、“以……为……”を表わす。

例：彼女は病気を理由に学校を休んだ。

（她以生病为理由没去上学）。

20. “思うに、要するに”などの形式で語句の説明を引き出す。

例：思うに、マーケットの繁栄は国民経済の安定にあると言えよう。

（我想：市场的繁荣可以说取决于国民经济的稳定程度）。

先生の言いたいことは、要するに、もっと学習に努力せねばならぬということだ。

（老师想说的，总之，必须更加努力学习）。

21. いつもいっしょにある（いる）ようなものを並べて言うのに使う。「～に～」と二つだけ並べて言うことが多い。

例：わたしたちはいま学校で歴史に政治に文学を習っている。

（现在我们在学校学习历史、政治和文学）。

テキストにノートに参考書をください。

（请给我教科书、练习本和参考书）。

参考书

1. 新日汉辞典 辽宁人民出版社 1980年版
2. 日汉辞典 商务印书馆 1963年版
3. 明解国語辞典 金田一京助监修 改订第96版
4. 现代日语助词手册 宋仰之著 1981年版
5. 《日语》第一～四册 上海外国语学院编 1982年版
6. 外国人のための基本語用例辞典 1971年版

中国华侨大学外语学部

蔡 大 堂